

大阪大学の研究者が、わかりやすく解説!

エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座 season2

第1回

Preventionのための リスクコミュニケーション、 Postventionのための臨床心理学

2024年5月31日(金) 19:30~20:30

- ・会場開催(要申込)
- ・YouTube Live:無料配信

講座概要

近年、新型コロナウイルスのパンデミックや自然災害など、私たちの「いのち」と「暮らし」を脅かす様々なリスクが顕在化しています。そこで、今回は、これらのリスクに対して、事前の備え(Prevention)と事後のケア(Postvention)という2つの観点から探究します。専門家の知見を踏まえつつ、みなさんと共に、これからの「いのち」と「暮らし」について考えていくことで、リスクと向き合い、レジリエントに生きるためのヒントを生み出していきます。

講師



平井 啓 大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授, (兼) 大阪大学感染症総合教育研究拠点

山口県生まれ。博士(人間科学)、公認心理師。専門は健康・医療心理学、行動医学、医療行動経済学、サイコオンコロジー。著書に『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』(東洋経済新報社、2018年、大竹文雄との共著)、『ワークシートで学ぶ問題解決療法—認知行動療法を実践的に活用したい人へ 実践のコツを教えます』(ちとせプレス、2020年、本岡寛子との共著)など。



八木橋 真央 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任助教(常勤)

東北大学大学院経済学研究科 博士課程前期 修了。東北大学大学院医学系研究科 博士課程 修了。博士(医学)。臨床心理士、公認心理師。「心理学を用いて人々の健康と幸福に貢献する」というモットーの下、基礎・臨床研究を行っている。専門分野は、臨床心理学、心身医学、リエゾン精神医学。また、医療機器開発のための人材育成プログラムであるジャパン・バイオデザイン 第6期フェロー。これまでの経歴から、産学連携や心理学の社会実装について高い関心を持つ。

5月31日開催講座の詳細・お申込みはこちら ▶

<https://kc-ijp/activity/chogakko/cider2024/detail20240531.php>

主催 大阪大学感染症総合教育研究拠点(CIDER), 一般社団法人ナレッジキャピタル

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点

☎ 06-6105-5009 ✉ info@cider.osaka-u.ac.jp 🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>

CIDER

